

令和元年度第1回本埜地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 令和元年7月25日(木)・午後1時30分～3時35分
- 2 開催場所 本埜公民館2階 団体研修室1
- 3 出席者 鳩貝太郎 委員、森田文雄委員、松苗一樹 委員、菅原勇 委員、
織原拯 委員、植木清委員、岩井とし子 委員、鳥羽功雄 委員、
颯佐春美 委員、大塚延男 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事 (1) 平成30年度分行政評価結果について
(2) 印旛地区・本埜地区意識調査について
- 7 議事録 要点筆記

議長(鳩貝会長)：議事(1)平成30年度分行政評価結果について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明。

議長(鳩貝会長)：事務局の説明が終わりました。ご質問等を伺います。

大塚委員： 資料1-2、写真の下にあるタイトルの文字色は統一した方が見やすい。

次に1-3、個別評価票について、事業「1」の特定財源は何か。

事業「2」は、元号の統一表記が必要で、事業「3」では、実績として具体的に記載のあった事業が平成30年度では消えているので残念。

事業「4」は、前回(H29)の決算額と乖離している理由は何か。事業「18」は、常に成果値52%であるが理由がわからない。

事業「62」は、成果コメントの最後に「事業所の取り下げによるもの」とあるが、意味がよくわからない。

事業「115」の学校安全事業で、昨年度から防犯カメラを設置しているが、実績に記載がないのはなぜか。

事業「143」の活動指標の部分で連絡会の開催に数字が入力されていないがこれで良いのか。

事業「144」は、予算が執行されていないがこの評価で良いのか。

事業「192」の活動指標は、前年度(H29)マイナス表示であったが今年度の数字は変わっている。修正した理由は何か。

議長（鳩貝会長）：事務局の回答を求めます。

事務局： 資料 1-2 の写真の文字色については、統一します。

事業「1」については、年度途中に国の補助金が採択され、特定財源として計上されたものです。事業「4」については、決算額を確認します。

事業「18」自主防災組織の組織率については、新たに設置が 3 組織ありましたが、解散する組織もあると聞いております。なお、結成率の基礎となる数字は町内会設置数が基本になります。

事業「62」については、当該施設の補助決定までに期間を要するため、事業者が取下げをしたと聞いております。

事業「115」については、交通安全プログラム、安全マップなど、ソフト面を主に所掌している事業で、防犯カメラの設置については、小中学校施設整備改修事業により、予算化されています。

事業「143」、上段の活動指標については、H30 から指標の見直しをしていますので、削除します。

事業「144」については、予算執行はされていませんが、用地交渉は継続実施していることから、当該評価としました。

事業「192」については、本年度は表記を見直し、わかりやすい整数での評価に修正しました。

議長（鳩貝会長）：その他はございますか。

松苗委員： 事業「13」の目標値など、矢印により表記されているが、これはどのようなことを示しているのか。

事務局： 目標値が矢印の場合は、当初に目標数値を設定し、その数値以上または以下で当該年度の評価をしています。

鳥羽委員： 事業「193」の職員研修について、印西市から他市への長期研修実績はあるのか。

事務局： 今年度の実績になりますが、千葉県に 2 名の職員が派遣されております。

鳥羽委員： 勤務が印西市のみだと視野が狭くなるので、他市で研修するなど視野を広げるための職員研修を実施した方が良いと思います。視野が狭くなると評価も自己満足になるので、他市を参考するなど広い視野を養ったほうが良いと考えます。

岩井委員： 事業「89」の市民農園整備事業については終了したとありますが、人口からみて市民農園がまだ不足しているのではないかと。

これからの農業のために、「85」新規就農という事業もあるが、大人になってからでは遅いので、子どもの頃から教育が必要ではないかと思います。

事務局： 印旛高校跡地の市民農場については、令和元年度から、市民農園運営事業として、保育園など、子どもたちに収穫体験を実施していくと聞いております。

また、学校では、校外学習において農業体験などを実施しているところで、まずは体験というところから、農業に関心を持っていただきたいと考えております。

議長（鳩貝会長）：資料 1-1 では、結果としての記載はあるが、今後どのようにするのかこの資料ではわからない。単に目標値が達成していればそれで完了、また、評価の低い事業も今後検討するだけでは、無駄になってしまうので、検証と今後の方向性を整理して、次に繋げるようにしていく必要があると考えます。

議長（鳩貝会長）：議事（2）印旛地区・本埜地区意識調査について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明。

議長（鳩貝会長）：事務局の説明が終わりました。ご質問等を伺います。

鳥羽委員： 設問 4、居住地区に安食ト杭が抜けているがどの地区になるのか。

事務局： 選択肢の入力漏れのため、居住地区「酒直ト杭」の次に追加します。

鳥羽委員： 設問 5 の居住年数 20 年以上が最長居住年数の選択肢となるが、生まれてから、ずっと住んでいる人も数多くいる地区です。1 から 3 は区分が小刻みになっているが、区分をもう少し分けてもよいのではないかと。

次に、設問 15 で、合併して良かった、良くなかったという設問は答えにくいので、「どちらとも言えない」というような選択肢があっても良いのではないかと。

事務局： 設問 5、年数の区分については、細かい区分できるか検討させていただきます。留意すべき点は、合併前から旧本埜村にお住まいか、この回答によっては、合併前との比較ができない方もいるので、現状でどう感じているかという設問に読み替えて回答できるように留意したいと考えております。

設問 15 につきましては、印旛地区地域審議会でも、同様のご意見があった内容のため、設問と回答を検討していきたいと考えております。

議長(鳩貝会長)：設問 15 は、この内容を聞いてどのような意味合いを求めているのか。

大塚委員： 合併して良くなかったとの回答が多かったらどうするのか。

設問 9 で、良くなった施策、悪くなった施策を聞いているので、合併の賛否をはっきりさせる設問はしなくても良いのではないかと。

菅原委員： 設問 10 で、合併前と比較しておりますが、合併後に転入してきた方もいるので、回答ができるような工夫が必要だと考えます。

次に、印旛地区・本埜地区意識調査するには、統合後の学校施設（宗像小・本埜第二小）跡地についての意見集約が必要ではないかと考えます。

自由意見欄の例としての明示でも良いの考えてみてはどうか。

事務局： 委員のご意見については理解できますが、学校跡地という個別具体的な設問設定ではなく、地域の皆様が考える必要と考える施設や行政機能については、設問 19 でお答えいただければと考えております。

また、自由意見欄において、例示をすると誘導的な設問になるため、あくまで、自由意見欄は基本自由記載としたいと考えております。

大塚委員： 誘導的になるのであれば、設問 16、18 の例示は必要ないのではないかと。

事務局： 自由記述ができるの回答例示については、再度、検討させていただきます。

大塚委員： 例示を記載するのであれば多く書いたほうが良いのではないかと。

事務局： 自由記述ですので、率直な意見をお聞きするのも、今回の意識調査の目的でもありますので、再度、検討していきたいと考えております。

議長(鳩貝会長)：設問 20 に活用が図れそうな「資源」とあるが、一般的な資源と言われると行政と市民で、感じ方や意図が違うので、検討願いたい。

設問 19 の施設の行政機能（施設）として学校教育施設はないのか。設問 17 の施策の中では、学校教育という項目があるが。

植木委員： 現在、本埜地区では本埜中学校の問題で悩んでいる。

菅原委員： 地域の中心的な役割を担っていた小学校が閉校となったが、市として、また、地域としてどのようにカバーしていくのか、試行錯誤しているところです。現在、市では施設面としては対策が講じられてなく、地元では売却されるのではないかと話もあり不安に思っている。アンケートで意見を集約してはどうか。

事務局： 意識調査において、今後、必要な施設として考えていただき、その内容を回答いただければと考えております。

鳥羽委員： 設問 4 の居住地区について、1 区、2 区などと地元では使用されているが、行政として何かに規定はされていないのか。

事務局： 町内会の名称では使用されていますが、条例など規定されているものではありません。

松苗委員： 9 番の設問で、番号に○を付けたら、どちらが良くて、どちら悪いのかわからないのではないのか。

事務局： 今後、レイアウト作業を進めるなかで、この設問に関しては、各回答に 3 個ずつ番号を書けるように回答枠を設けたいと考えております。

議長(鳩貝会長)：設問 5 の居住年数について、1.1 年未満に 2.1 から 4 年に見えるので修正が必要ではないか。

事務局： わかりやすいように表示していきます。

森田委員： バスの運行について、県内で 3 番目に多い費用をかけているとあるが、地域の高齢者は、ルート、停車場所などわからないと言っているので、今一度、ルート図や時刻表を配付していただきたい。

事務局： いただいた意見については、担当課に伝えます。

議長(鳩貝会長)：市からの情報提供については、課題があると思いますので、対応をお願いしたいと考えます。在住年数が短い方は合併前との比較はできないのではないのか。

事務局： 合併前との比較が困難な方については、現在、どう感じているかを書いていただけるように、配慮していきます。

議長(鳩貝会長)：他に質疑等ありませんか。無いようでしたら、議事（2）印旛地区・本埜地区意識調査については以上とします。本日の議事はこれで終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

事務局： それでは、事務局から事務連絡をさせていただきます。

- ・住みよさランキング 2019 について

- ・ゆるキャラグランプリへの投票について

以上で、令和元年度第 1 回印旛地区地域審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第

資料 1－1	平成 3 0 年度分行政評価の結果概要について
資料 1－2	平成 3 0 年度分行政評価結果報告書
資料 1－3	平成 3 0 年度分実施計画事業評価票
資料 2－1	印旛地区・本埜地区市民意識調査設問（案）
参考資料	イノシシ捕獲数・電気柵設置状況
参考資料	平成 3 0 年度スワン号実証運行利用状況

令和元年度第 1 回本埜地区地域審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和元年 8 月 2 2 日

委 員 菅原 勇

委 員 颯佐 春美